■丹羽長秀　　主君織田信長の天下どりを支え続けて，家臣最初の国持大名になり，信長死後は，豊臣秀吉覇権を先導する役割。
にわながひで
・・・・・・1535＝　　尾張国春日井郡で，丹羽長政の次男に生まれる。
丹羽氏は，代々尾張国の守護斯波氏に仕えた豪族で，台頭した織田家に従属していた。

鉄砲伝来・・1543＝ 8歳：
・・・・・・1544＝ **9歳：**

ザビエル来日1549＝14歳：

織田信長登場1551＝16歳：父が死去，小姓として，1歳年上の**_織田信長に仕えた直後に，**
大友布教許可1552＝17歳：**_信長の父信秀が急逝して，織田家の相続争いとなり，**
川中島の戦始1553**＝18歳：**梅津表の合戦で**_初陣，**

大陸邦民事件1555＝20歳：信長が尾張一国を支配することになった**_一族の織田信賢の居城岩倉城を攻めに従軍し，**
・・・・・・1556＝21歳：信長が，実弟信勝を抑えるべく起こして勝利し，柴田勝家が信長に属することになった**_稲生の戦いでは，織田家家臣の多くが弟信勝につくなか，信長を支え，**

桶狭間の戦・1560＝25歳：尾張へ侵攻した駿河国の今川義元を討つ**＊桶狭間の戦いに従軍して，信長から信頼を得，″長″の字の偏諱を受けて，長秀と名乗るようになり，**
大村長崎開港1562**＝27歳：**
大村純忠受洗1563＝28歳：信長の養女**_桂峯院(信長の兄信広の娘)と結婚。**
信長が，北に接する美濃国の攻略に着手すると，総大将を命じられて織田軍を率い，美濃を治める斎藤家配下にあった猿啄城への攻撃では，先陣を切って山を攻め上がり，城へ通じる水路を遮断して，あっという間に敵を降伏に追い込み，飛騨国を繋ぐ交通の要衝にあった加治田城の攻防戦では，内通工作を仕掛け，斎藤家に属していた城主佐藤忠能を寝返らせることに成功，
岐阜楽市楽座1567＝32歳：信長が，斎藤家の居城稲葉山城を攻め，城主斎藤龍興を敗走させて，稲葉山城を岐阜城と改名に至る**_美濃国を平定の一連の戦いで武功を重ね，**
織田信長入京1568＝33歳：**_足利義昭を奉じて信長が上洛した際，南近江の六角氏征伐で箕作城を攻める観音寺城の戦いでも貢献，**
この間，信長の側用人松井友閑と共に，″名物狩り″と称する茶器その他の名品集めをして，信長に届け，その政治力誇示に貢献，
石山合戦始・1570＝35歳：徳川家康の支援を得た織田軍と，近江国の浅井長政と朝倉家の連合軍が激突した**_姉川の戦いでは，浅井家の家臣磯野員昌が守る佐和山城を包囲，**
比叡山焼討・1571**＝36歳：**長男長重が誕生，のちに，信長の五女を娶るが，2代に渡って信長の姻戚となった例は，他の家臣には一切無く，信長から，’友であり，兄弟である’と言われるほど，厚く信頼されていたことが分かる。信長による比叡山焼討ちの事後処理を任されると，焼け残った石垣の堅牢さに注目し，のちの安土城築城に，石垣を築いた穴太衆に協力を仰いだとも言われる。**_磯野員昌を投降して退城すると，同城の城主になった。信長から，将軍足利義昭を征伐のため，琵琶湖を渡って京都に直行すべく，巨大船建造を命じられて完成させ，**
室町幕府滅亡1573＝38歳：朝倉義景討伐に加わり，信長の命令で，朝倉義景の母と世子愛王丸を捜索して処刑するなど，**＊一乗谷の戦いで，朝倉家の滅亡に貢献して，その所領若狭一国を与えられ，織田家家臣最初の国持大名となった。**
長篠の戦・・1575＝40歳：高屋城の戦い，長篠の戦い，越前一向一揆征伐，**_各地を転戦して功を挙げ，信長が家臣達への官位下賜と贈姓を上奏し，羽柴秀吉が筑前守，明智光秀が九州の名族″惟任″姓を与えられた際，同じく九州の名門″惟住″姓が与えられたが，これを一度，’拙者は，生涯，五郎左のままで結構’と断るほど，謙虚でもあった。**
安土城築城・1576＝41歳：信長が始めた**_安土城普請の総奉行を務めて，3年で完成させるなど，職人統制の面でも才能を発揮，**
安土教会許可1579＝44歳：功労により，信長から，村田珠光旧蔵の「珠光茶碗」を下賜されるが，どういうわけかまもなく，鎌倉時代の刀工長光が手がけた名刀「鉋切長光」と変えられた。天正伊賀の乱に従軍し，但馬国の(羽柴)豊臣秀長と共に，丹波国へ侵攻して，氷上城城主波多野宗長を自刃に至らせるなど，
石山合戦終・1580**＝45歳：**
ﾊﾞﾘﾆｬｰﾉ謁見 1581＝46歳：比自山城の戦。信長の命で，越中木舟城の城主・石黒成綱を近江で謀殺し，願海寺城の城主寺崎盛永父子らを佐和山城に幽閉，切腹させるなど，**_従軍を続け，信長が威信を示すべく京都で行った馬揃えでは，重臣を差し置いて，先頭で入場する厚遇を受ける。家老筆頭格の佐久間信盛失脚後この位置に繰り上がった柴田勝家に続く二番家老の席次が与えられ，柴田勝家と並ぶ織田家家臣の双璧と呼ばれるに至る。**
本能寺の変・1582＝47歳：甲州征伐で，武田家滅亡後，信長の計らいにより休暇を与えられ，堀秀政，多賀常則とともに草津温泉で湯治したという。信長の命を受け，信長の三男信孝が総大将を務める，**＊長宗我部元親討伐軍に加わって，四国へ向かう途上，大坂で，本能寺の変の勃発を知ると，信孝を補佐して，明智光秀の娘婿津田信澄を殺害し，山崎の戦いでは，信孝と共に(羽柴)豊臣秀吉軍に従い，明智光秀討伐後の清洲会議では，秀吉が信長の後継者に推す信長の嫡孫三法師を支持して，秀吉が織田家の事業後継者になることを認める役割を果たし，**
賤ヶ岳の戦・1583＝48歳：秀吉が柴田勝家を討った**_賤ヶ岳の戦いでも，秀吉を援護して，戦後，北ノ庄城主となり，若狭国や越前国，加賀国2郡を与えられ，約60万石を領する大名になったが，**
信長の遺族をないがしろにした秀吉に反感してか，城に籠りがちとなり，大坂城落成の際も上洛せず，
豊臣秀吉関白1585＝50歳：長く苦しんできた積寸白(せきすばく：寄生虫病)に耐えきれず，**＊サナダムシもろとも自刃して没した。**
家督を継いだ嫡男の丹羽長重は，丹羽家の求心力を恐れたためか，秀吉からたびたび失政をとがめられ，加賀国松任4万石にまで領土を縮小させられる。

Wikipedia，ホームページ「刀剣ワールド」